

科目ナンバリング		G-LAS00 80010 LJ41							
授業科目名 <英訳>	企業法務概論 Introduction to corporate legal affairs			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 村中 孝史 非常勤講師 堀江 崇寛				
群	大学院共通科目群		分野(分類)	社会適合		使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(メディア授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	木2		配当学年	大学院生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>起業をスムーズに行えるよう、事前に理解しておくことが必要な法律問題について概説を行う。具体的には、会社の設立に関わる法律問題、会社運営において必要となる会計処理や税務処理、従業員の雇用にかかわる法律問題、会社の売却や事業譲渡にかかわる法律問題などを扱う。</p>									
[到達目標]									
<p>会社の設立や運営にあたって問題となる法律問題や会計・税務処理に関し、会社法、税法、労働法等の枠組みに関する基本的知識の習得を目標とする。以上の基本的知識を習得することで、起業の可能性やプロセスを予測することが容易となる。</p>									
[授業計画と内容]									
<ol style="list-style-type: none"> 1 会社経営の実情と法律の意義(村中・堀江) 2 企業経営の概説と会社の設立(堀江) 3 従業員の募集・採用(契約の締結)(村中) 4 就業規則の作成と変更(村中) 5 労働法令の遵守(村中) 6 従業員の解雇・雇い止め(村中) 7 業務遂行と労働者利益(村中) 8 複式簿記と決算書(堀江) 9 事業資金の調達(堀江) 10 税金の計算(堀江) 11 財務分析とM&A(堀江) 12 株式の公開と倒産(堀江) 13 学生による発表(1)(村中・堀江) 14 学生による発表(2)(村中・堀江) 15 フィードバック(村中・堀江) 必要に応じて 									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
<p>発表の内容(何らかの事情で発表できない場合にはレポート)により、企業法務に関する基本的理解を得たことを確認する。出席点を50%程度、発表(レポート)点を50%程度とする。</p>									
[教科書]									
村中・堀江・平木 『起業のための企業法務入門』(北大路出版)									
----- 企業法務概論(2)へ続く -----									

企業法務概論(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

配布資料がある場合には、事前に読んでおくことが望ましい。また、授業後には、発表やレポート作成を念頭とした復習をしておくことが望ましい。

[その他(オフィスアワー等)]

【メディア授業科目】
オフィス・アワーは、e-mailにてアポをとった上で、授業時間の前後いずれかに実施する。

[主要授業科目(学部・学科名)]